

■中国：中核集団、福建省漳州原子力発電所（華龍一号）を着工

中国の原子力安全規制当局である国家核安全局（日本の環境省に相当する生態環境部の傘下）は2019年10月14日、福建省の漳州原子力発電所1、2号機の建設許可を2019年10月9日付で発行したことを公表した。これに基づき、事業主である中国核工業集団有限公司（CNNC）は10月16日付で原子炉建屋基礎コンクリートの打設作業を開始する写真をHPに掲載し、同発電所建設工事が正式に着工されたことを明らかにした。中国内における原子力新規サイトの建設許可は福島第一原子力発電所事故以来初めてとなる。漳州原子力発電所1、2号機には、中国が自主開発を手掛ける「華龍一号」（第3世代PWR）が採用されている。